

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 2025 年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	08	10	日	9 : 00	13 : 00	鶴ヶ島農業交流センター	7 名
活動名称	鶴ヶ島なかよしっ子クラブの流しそうめんの協力					報告者：杉山	

<活動目的>

地域社会のまちづくりの一環で、市民による組織の活動を応援している中で、鶴ヶ島市内の発達障害の子を持つ親と子の会「鶴ヶ島なかよしっ子クラブ」から昨年に引き続き流しソーメンの協力依頼を受け、対応しました。

<経緯>

当クラブが実施している里山体験会場において、場所を借りる形で、宝物探しなどの独自の活動をしているグループが有ります。このグループの中心的な方3名が、一昨年当クラブが行った藤小学校での流しそうめんを見学して、是非自分たちの仲間にも実施して欲しいとの要望があり協力したのがそもそもの始まりでした。今年で3回目になります。このように対象を限定しての行事であり、一般でもほとんど行われない内容なので大変喜ばれ本年も協力要請を受けました。

<主な活動内容>

当クラブはあくまでも協力の形で、ソーメン流しセットの設営なども彼らが親子で行い、我々は材料・用具の提供と指導・協力するとの打ち合わせでした。ところが天候が前日まで快晴だったのが、当日は終日雨模様の予報となり、実施か延期かななかよしっ子クラブ側は迷いましたが雨天決行で流しソーメンを行うこととなりました。このため、テント4張（内1張は柳川氏持参）の追加となりました。テント内で、お椀作り、外で流しソーメン、そしてテント内にテーブル・椅子を並べて辛揚げや枝豆その他用意された料理を食べ楽しく歓談しました。事前に保護者の役割が周知されていたのでハプニングにも円滑に乗り切れました。当方も予めソーメンの茹で方指導、お椀製作の指導など担当者を決めておいたのも円滑の大きな要素となったと思います。

なかよしっ子クラブの参加者は子供10人、大人15人でした。

<課題・評価>

6日に竹の切り出しを行い、当日に二つ割りして樋を作成したので樋がきれいで衛生的であったこと、樋を支える三脚を小嶋氏が工夫して使い易いものを予め製作したこと、雨の中での流しソーメンであったので現場で判断する場面が多かったが会員が的確に行動されたことに、なかよしっ子クラブの参加者から大変驚かれ感謝されました。

反省点として、用具一覧を事前に回覧しなかったこと、雨が大部分上がったとはいえ片付けに夢中となり当日の反省会を行わなかったこと等が挙げられます。

尚、濡れたテントは翌月曜、水曜に天日干しをしました。

(参加会員)

(写真左より) 小嶋、金、小澤邦、杉山、石川、柳川、他に吉井



